

T 公民館だより Toyosato No. 73



豊里コミュニティ推進協議会
豊里公民館広報
5月号
令和元年5月1日発行



3月17日(日)、公民館中ホールにおいて、「コーラス赤いくつ」主催(公民館共催)の春コンサートが開催されました。

この催しは、コーラスサークルの赤いくつが結成20周年になるのを記念し、ピアノとチェロの奏者をゲストに招いて行う初めての単独コンサートです。

会場は、200人を超す観客で満席状態。背景に大きなスクリーンで曲の雰囲気

すてきな歌声とピアノ&チェロ演奏 会場を魅了

コーラス赤いくつ 20周年記念 スプリングコンサート開催



映し出すみごとな演出のステージでした。

プログラム構成は三部で、第一部では、指導者で指揮の高橋由紀子(迫町)さんと

ピアノ伴奏者の三浦ひかるさんとともに、赤いくつのメンバー15名が登場。四季折々の唱歌や叙情歌など、美しいハーモニーを披露し、



満場の喝采を浴びました。

第二部は、特別出演としてピアニストの佐々木理之(のりゆき、豊里町加々巻出身)さんと、チェリストの藤岳音(がくと)さんが登場。ピアノやチェロのソロ演奏のほか、すてきなアンサンブルで会場を魅了しました。

第三部は、出演者全員と会場が一つになって合唱。全体が盛り上がり、素晴らしい演奏会になりました。

東北風土マラソン&フェスティバル 2019

けの汁、ドーナツ 今年も大人気



3月23日(土)~24日(日)の二日間、長沼湖畔において、『東北風土マラソン&フェスティバル2019』が開催され、今年も豊里コミュニティ推進協議会地域づくり委員会が参加しました。

このイベントは、東日本大震災の復興を応援し、東北の名物グルメや地酒など集めて、食べて飲んで早春の美しい湖畔を走るファンラン大会です。

地域づくり委員会の参加は、前々年から連続3回目。



今年も出店ブースを設け、23日にはドーナツを販売。開始早々売れ行き好調で、上々の人気でした。

24日には、ドーナツに加え豊里の郷土料理『けの汁』が登場。いずれも大好評で、中には昨年もおいしかったというリピーターも何人か訪れました。

今年のイベントは両日も寒風が吹き荒れ、とても寒い日が続きました。24日には吹雪になるなど荒れた天気でしたが、それでもドーナツは780個、けの汁は400杯を完売。寒い中での温かいけの汁は、「あったまる」と特に喜ばれました。

この出店には、二ツ屋地区の皆さんをはじめ、地域づくり委員の方々にご協力をいただきました。



祝祭劇場で感動の映画上映会

~『ひとりじゃない』 770人が鑑賞~

豊里コミュニティ推進協議会が製作した映画『ひとりじゃない』と豊里PR動画は完成から3ヵ月。全国的に大きな話題となり、連日全国各地から映画の借用申請があり、たくさんの感想も寄せられています。

4月12日と13日の2日間、登米祝祭劇場において、上映会が開催されました。

会場は、映画制作に関わるパネルや小道具等を展示。

上映は3回に分けて実施。観客数は771人を数え、感動のイベントとなりました。

ボランティア100人が協力 米中生大活躍

～平筒沼クリーンアップ作戦展開～



登米市環境市民会議の主催で、毎年春と秋の2回実施されている平筒沼クリーンアップ作戦は、今年も3月16日、豊里と米山から参

したボランティア100人の皆さんが集結しました。

今回は、米山中学校の部活動を中心とした中学生50名が参加。山の急斜面もい



とわずに大活躍。湖畔や周辺道路脇など、約2時間の作業でペットボトルや空き缶など、たくさんのゴミを収集しました。

桜の名所でもある平筒沼。

今年もきれいな環境のもとで、楽しい花見ができそうです。

参加された皆さん、ご協力ありがとうございました。



ご厚志 ありがとうございます

三人の方が平筒沼学習館に貴重な資料を寄贈

豊里の人間国宝、西二ツ屋の佐藤登さんと庚申の板倉景介さんから、資料に役立ててほしいと貴重な物品をご寄贈いただきました。

佐藤さんは、タンスや長持ちを保護する布、油単(ゆたん)と米俵の側面のコモ。板倉さんからは、ご自身が趣味で作っている木炭と手づくりの炭俵のミニチュア3個をいただきました。

また、西二ツ屋の佐藤栄一さんからは、わらで編ん

だ藁(むしろ)2枚を届けていただきました。

いずれも今では見られない珍しい物で、生きた教材として大変貴重な資料です。

学習館では、早速資料室に展示させていただきました。どうぞご覧下さい。

ご厚志ありがとうございました。



寄贈された貴重な資料の油単と米俵(左)、炭俵と木炭(右上)、藁(右下)

碁将棋サークルの集い



4月14日(日)、公民館和室において、本年度第1回

目の囲碁将棋サークルの集いを開催しました。

今回は、小学生1名を含む12名の愛好者が参加。腕自慢の皆さんが互いに対戦相手を変えながら楽しみ、世間話や局後の検討と会話に花が咲きました。

公民館職員採用のお知らせ

これまで公民館職員として、6年余勤務された伊藤千尋さんが一身上の

都合で退職され、替わって4月1日付で佐々木裕子(竹花)が就任しました。

ナンダベ コレ

学習館  10

平筒沼学習館に展示している貴重な文化財をシリーズで紹介しています。

今回は、飲料水をたくわえる「水瓶」の登場です。

「ナンダベ」とは方言で、「何だろう」という意味で

水瓶(みずがめ)



飲料などの水をたくわえておくための瓶です。かなり大きな物で、この地方では陶器などで作られている

ものが多いようです。

水は生活にとって不可欠なものであり、上水道がなかった昔は、家々に井戸が掘られ、飲料水を確保してきました。その井戸から水を汲み上げて運び、水瓶にたくわえて使います。

水瓶は、生活必需品であり、今に例えていえば水道の蛇口でもあります。このため、どこの家の台所にも

据え置かれていました。

大きさにもよりますが、水を満たすと、通常の生活でもおよそ10日程度は暮らすことができましたといえます。

水瓶にはふたをし、その上に常に柄杓を備え、桶やたらいなどに汲み分けて使用。炊事のみならず、洗顔や洗髪、掃除など、あらゆる作業に利用されました。

昭和30年代後半まで使用。

5月の公民館行事

月 日	行 事 内 容	場 所
5月12日(日)	囲碁・将棋サークル	公民館和室
5月23日(木)	いけばな教室	平筒沼学習館

編集後記

さくらが咲き、本格的な春到来となりました。

上町法印神楽東欧公演報告会が開かれましたが、その模様と東欧公演の様子は次回ご紹介します。(佐々木)